

令和5年度 烏山北小学校 学校経営計画に関する自己評価(教員)

4:十分あてはまる・十分な成果があった 3:ややあてはまる・やや成果があった 2:あまりあてはまらない・あまり成果がなかった 1:あてはまらない・成果がなかった

重点	方 策	努力の度合	成果の度合
「キャリア・未来デザイン教育」の充実による、思い描く未来を実現することができる資質・能力の育成	学校生活を通して、学ぶことや協働することの意義を実感させる。	3.5	3.2
	教育活動全般を通して、「目標に向かって頑張る力」「人とうまく関わる力」などの非認知能力を育み、学びに向かう力の育成を図る。	3.7	3.2
	子どもにとって楽しく分かる授業や計画的・創造的な特別活動の実施を通して、子どもの学校に対する満足度の向上を図る。	3.6	3.3
	学習や生活の振り返りやキャリア・パスポートなどを活用して、子どもが主体的に自身を振り返り、児童が自己の良さに気付いたり、自信を高めたりするとともに、将来への希望や抱負がもてるようにする。	3.3	3.0
カリキュラム・マネジメント・ICT活用・探究的な学びの充実による「主体的・対話的で深い学び」の推進	児童一人一人が、自分の学びを振り返り、新たな課題を見つけていく学習サイクルの確立を図るとともに児童の状況に応じた指導の工夫を行う。	3.3	3.1
	カリキュラム・マネジメントによる授業改善に取り組み、身に付けた資質・能力を生かす問題解決的・探究的な学習過程で「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。	3.3	3.1
教師と子どもの信頼関係を基盤にした「支持的風土」のある集団づくりや学校・家庭・地域が連携した「共育」による学校力の向上	教育活動全般を通して、人権尊重の精神を培い、偏見や差別、いじめを許さず、自他の良さを認め合い尊重し合う人権教育を推進する。	3.8	3.5
	地域運営学校としての機能の充実を図り、子どもも保護者も「みとめあい・まなびあい・そだてあい」のできる風土の醸成を図る。	3.5	3.3
	指導内容の共通理解、情報共有と指導の明確化を図り、子どもとの信頼関係を構築し、規範意識の向上と互いに認め合える風土の醸成を図る。	3.7	3.3